|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 開始時刻 | 0950 | 場所 | Zoom | 作成日 | 令和7年6月25日 |
| 終了時刻 |  | 出席者 | 梶川、川崎、二上、村井、青木 | 作成者 | 梶川 |
| 目的 |  | | | | |
| 決定事項 | 進捗100％を目指しつつ、発表準備も進める  プレゼンの担当箇所  製作背景：川崎 製作過程：梶川 工夫した点：村井 苦労した点：二上 研修で学んだこと：青木 | | | | |
| 議事録 | 1330からプレゼン準備  プレゼンの担当箇所を決める  製作背景 川崎  これを通して勉強するんだぜってこと。  製作過程 梶川  データに物を言わせの、APIの制限などの壁に当たった  Canvaを用いた共同図面政策で見える化  工夫した点 村井  ペルソナの設定に沿ったアプリ開発を意識  日常業務でキーボード操作をなるべく削り落とした  店長側はシンプルにする一方で、機械慣れしているバイト側も使いやすいような配置  スマホ表示でも対応しやすいような縦長のデザイン、ボタンのサイズや配置も右よりに。  苦労した点 二上  要件定義が一番難しかった。案は出るものの、データに物を言わせる系、API制限、レビューで発覚する日本語のレベルの低さ。  研修で学んだこと 青木  目標を立てることや進捗状況を数字にして個々人が認識する。  ホウレンソウの意識。定期的な話し合いで人員配置を柔軟に。  プレゼンのレビュー  チームに誰がいて、何を担当したか？  なぜ作ったか？ペルソナと一緒にこたえる（？）こういうペルソナがいると思うので、それに対して助けてあげたい。ペルソナはどんな人か？  昔はシフト管理はこうしていた（問題点）、今はこうできるよ（解決策）（現状存在は少ない）  概要として、何をできるか、どのような流れで（）PR含む  どんな効果があるか、カフェの店長が何を言うか想像で書くもアリ。  定量的な効果を示す。（コスト削減などを数字を用いて）  誰が何をやったか？作業内容はプログラムの内容ではなくわかりやすい日本語で。  特に力を入れたこと、1人ずつ？  裏でどうやっていたかをホワイトボードなどの写真。  課題、効果、結果。悪いことから良いことを最後に話す。謝辞。20分。  A5→どっか→A2  個々の成長も評価項目として見られる  明日の15時から1度目の全体での発表  昔のシフト管理はどのようにおこなわれていたか？  個別で希望を聞くパターン、固定シフトのパターン、テンプレ印刷された紙に記入して提出パターン、 | | | | |